

「令和2年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 3 年 4 月 9 日

事業名称		高齢者慶祝事業費[長寿祝金等支給事業]							
予算科目	款 3	民生費	項 1	社会福祉費	目 3	老人福祉費	事業番号 5		
事業の種別	<input checked="" type="checkbox"/> 市単独 <input type="checkbox"/> 補助対象 <input type="checkbox"/> 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)								
担当部署・課長名	高齢介護		課		高齢福祉		係	課長名	伊野宮 崇
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。						施策番号	2 - 2		
【施策名】 高齢者保健福祉の推進						総合計画書(ページ)	51		
この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。			① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)					
	100歳以上の市民 最高齢者 30,000円を支給 百歳以上者 10,000円を支給			市内65歳以上の高齢者数(4月1日現在)					
	→								
この仕事の目的	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]			② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)					
	長寿を祝うとともに、敬老の意を表すことで、高齢者自らの生活意欲の向上と生きがいの増進につなげてもらう。			最高齢者及び100歳の市民					
	→								
この仕事の目的	③ そのために何をしましたか。			③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)					
	市長が表敬訪問を行い最高齢者(4月に訪問)及び100歳の市民(誕生日またはその翌月に訪問)に祝金を支給し、花束を贈呈している。			最高齢者及び100歳の市民					
	→								
指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度	成果目標		
				平成30年度実績	平成31年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標	
	対象指標	①の数値	人	22,711	22,902	23,062			
	成果指標	②の数値	人	最高齢者 ³⁷ ₁₀₅	最高齢者 ³⁶ ₁₀₆	最高齢者 ¹⁶ ₁₀₅			
	目標	②の目標値	人	目標値設定の考え方					
3 経費	事業費(実績)		円	584,400	577,000	268,000	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,380,000円 時間単価は、4,300円 で計算してください。 【算出根拠】平成31年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)		
	財源	一般財源	円	584,400	577,000	268,000			
		特定財源(国・都・他)	円	0	0	0			
		(うち受益者負担)	円						
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.1	0.1	0.1			
		所要人数(再任用)	人	0.0	0.0	0.0			
		職員人件費(再任用以外)	円	824,400	831,000	838,000			
職員人件費(再任用)	円	0	0	0					
事業費+人件費		円	1,408,800	1,408,000	1,106,000				
4 環境変化等	(1) 開始年度		昭和50 年度						
	(2) 環境の変化		昭和50年度から88歳以上の市民に対し、敬老金のほか、長寿を祝うため長寿祝金としても、5,000円を追加支給していた。対象者増加により見直しを行い、平成13年度以降は100歳以上を対象としている。また、令和2年度から市内最高齢者及び100歳を迎えた高齢者を対象としている。						

事業名称	高齢者慶祝事業費[長寿祝金等支給事業]			
担当部署・課長名	高齢介護	課	高齢福祉	係 課長名 伊野宮 崇

5 市民等の意見	この仕事に関して、令和2年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について			
	住民票上市内に住所を置いているのであれば、長寿祝い金の支給対象にして欲しい（実際に居住している自治体では支給対象にならなかった）。			
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。（複数回答可）			
	<input type="checkbox"/> 取り組んだ	取組手法：		
	<input checked="" type="checkbox"/> 取り組まない	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）		
(2)令和3年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点 特になし。				
7 課題	(1)令和2年度に課題とした内容（「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート7課題（3）を転記）			
	慶祝事業については、公費を支出することに議論がある。			
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、令和2年度に実施したこと。 事業廃止・縮小に向けて検討を行った。			
(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案） 慶祝事業については、公費を支出することに議論がある。				
8	施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。）			
施策名： 高齢者保健福祉の推進				
<input type="checkbox"/> なっている <input checked="" type="checkbox"/> 環境の変化等により成果が減少している <input type="checkbox"/> 類似の事業が他にあり改善の余地がある 事業名（ ）				
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など）			
	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止			
	【取組内容】 今後も引き続き事業の見直しを検討する必要がある。			
(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等 特になし。				